

# 健康福祉委員会資料

## (病院局関係)

### 1 所管事務の調査（報告）

#### (1) 令和4年度川崎市病院事業会計決算の概況について

資料1 令和4年度病院事業会計決算概況

参考資料 令和4年度川崎市病院事業会計決算（見込）の概況

病院局

令和5年7月27日

令和 4 年度

病院事業会計決算概況

病 院 局

## 1 令和4年度病院事業会計決算概況

### ○ 業務状況

市立3病院では、市の基幹病院又は地域の中核病院として、公共の福祉の増進と経済性の発揮を基本としながら、高度・特殊・急性期医療や救急医療等を継続的かつ安定的に提供しています。また、災害、研修教育等の対応を含めた医療行政施策の推進、地域医療機関との連携強化など、本市の医療水準の向上に寄与できるよう取り組んでいます。

このような中、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の市中感染等の広がりを受け、既存病床を新型コロナウイルス感染症専用病床に転換するなど、流行状況に応じた柔軟な対応を行いながら、年度当初から感染症患者の入院受入れを積極的に行い、通常診療との両立に取り組みました。さらに、感染症患者の入院調整等を行う調整本部への人員派遣や、福祉施設・事業所に対する感染症防止対策の指導・研修を主眼とした出前講座を実施するなど、様々な面で新型コロナウイルス感染症に対応してまいりました。

本市病院事業においては、公立病院として新興感染症への対応が求められる中、地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供するとともに、更なる経営改革と経営健全化を図るため「川崎市立病院経営計画 2022-2023」を策定し、取組を進めています。

**川崎病院**においては、高度・特殊・急性期医療、救命救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等への医療や、精神科救急医療などを提供しています。令和4年4月にはがん診療の実績と機能が評価され地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。川崎病院再編整備については、エネルギー棟及び給水ポンプ棟の建築工事を進め、また、救命救急センターと既存棟の実施設計を行いました。

**井田病院**においては、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、結核医療、緩和ケア医療などを提供しており、在宅療養後方支援病院として、地域の在宅医をサポートする取組も進めています。令和4年度は、「がん・総合健診センター」を開設し、各種検診に加えて、精密ながん検診を提供する体制を整えました。また、令和4年7月には、神奈川県災害拠点病院の指定を受けました。

**多摩病院**においては、小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー疾患医療等の一般診療を提供しています。また、地域医療支援病院として引き続き地域の医療機関との連携に努めるなど、北部地域の中核病院としての役割を果たしています。令和4年5月には緩和ケア病棟を設置し、運用を開始しました。なお、本病院は指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。

## ○ 収支状況

病院事業全体では病院事業収益は 377 億 4,866 万 188 円、病院事業費用は 364 億 2,742 万 1,380 円となり、この結果、純損益は 13 億 2,123 万 8,808 円の純利益となりました。しかし、特別損益を除いた経常損益では 18 億 4,232 万 8,520 円の経常損失となりました。

直営の川崎病院・井田病院(以下「直営 2 病院」という。)の病院事業収益は 357 億 8,887 万 3,404 円、病院事業費用は 351 億 5,094 万 9,805 円となり、6 億 3,792 万 3,599 円の純利益となりました。これは新型コロナウイルス感染症に係る補助金などによるもので、特別損益を除いた経常損益では、21 億 8,619 万 5,331 円の経常損失となりました。

多摩病院の病院事業収益は 19 億 5,978 万 6,784 円、病院事業費用は 12 億 7,647 万 1,575 円となり、6 億 8,331 万 5,209 円の純利益、経常損益では 3 億 4,386 万 6,811 円の経常利益となりました。

## ○ 患者状況

入院患者は直営2病院では延 25 万 2,555 人(1 日平均 692 人)で、前年度に比べ 1 万 4,264 人の増となりました。多摩病院では延 8 万 5,225 人(1 日平均 233 人)で、前年度に比べ 238 人の減となりました。

外来患者は直営2病院では延 44 万 5,102 人(1 日平均 1,832 人)で、前年度に比べ 1 万 5,870 人の増となりました。多摩病院では延 19 万 7,226 人(1 日平均 736 人)で、前年度に比べ 5,909 人の減となりました。

## ○ 診療収益状況

入院収益は、直営 2 病院では 177 億 1,432 万 7,904 円で、前年度に比べ 11 億 4,728 万 3,164 円の増となりました。

外来収益は、直営 2 病院では 84 億 1,355 万 5,964 円で、前年度に比べ 6 億 5,467 万 40 円の増となりました。

なお、多摩病院については、指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。平成 24 年度からは利用料金制をとっております。

## ○ 主な建設改良

川崎病院では、改修工事及び救命救急センター新築工事の設計を実施したほか、7階電気室の医療用無停電電源装置の更新等を実施しました。井田病院では、改築整備事業完了に伴う開発行為申請手続き等を実施しました。

また、医療器械については、川崎病院では、生理検査システムの更新等を行いました。井田病院では、原価計算ソフトの導入等を行いました。

## 2 経営成績

### ◎ 病院事業合計

(税抜き)

(単位:円)

科目	金額
総費用	36,427,421,380
医療費用	34,158,933,477
医療外費用	1,977,449,423
特別損失	291,038,480
当年度経常利益	
当年度純利益	1,321,238,808
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科目	金額
総収益	37,748,660,188
医療収益	29,198,219,023
医療外収益	5,095,835,357
特別利益	3,454,605,808
当年度経常損失	1,842,328,520
当年度純損失	
前年度繰越欠損金	16,859,746,468
当年度未処理欠損金	15,538,507,660

(直営2病院の内訳)

### 川崎病院

(税抜き)

(単位:円)

科目	金額
総費用	23,717,154,801
医療費用	22,377,414,449
医療外費用	1,134,490,188
特別損失	205,250,164
当年度経常利益	
当年度純利益	1,305,343,514
前年度繰越利益剰余金	2,897,011,096
当年度未処分利益剰余金	4,202,354,610

科目	金額
総収益	25,022,498,315
医療収益	20,484,650,067
医療外収益	2,719,483,273
特別利益	1,818,364,975
当年度経常損失	307,771,297
当年度純損失	
前年度繰越欠損金	
当年度未処理欠損金	

### (1) 直営2病院(川崎病院・井田病院)計

科目	金額
総費用	35,150,949,805
医療費用	33,142,707,493
医療外費用	1,717,355,040
特別損失	290,887,272
当年度経常利益	
当年度純利益	637,923,599
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科目	金額
総収益	35,788,873,404
医療収益	28,180,317,952
医療外収益	4,493,549,250
特別利益	3,115,006,202
当年度経常損失	2,186,195,331
当年度純損失	
前年度繰越欠損金	14,197,287,362
当年度未処理欠損金	13,559,363,763

### 井田病院

科目	金額
総費用	11,433,795,004
医療費用	10,765,293,044
医療外費用	582,864,852
特別損失	85,637,108
当年度経常利益	
当年度純利益	
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科目	金額
総収益	10,766,375,089
医療収益	7,695,667,885
医療外収益	1,774,065,977
特別利益	1,296,641,227
当年度経常損失	1,878,424,034
当年度純損失	667,419,915
前年度繰越欠損金	17,094,298,458
当年度未処理欠損金	17,761,718,373

### (2) 多摩病院

科目	金額
総費用	1,276,471,575
医療費用	1,016,225,984
医療外費用	260,094,383
特別損失	151,208
当年度経常利益	343,866,811
当年度純利益	683,315,209
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科目	金額
総収益	1,959,786,784
医療収益	1,017,901,071
医療外収益	602,286,107
特別利益	339,599,606
当年度経常損失	
当年度純損失	
前年度繰越欠損金	2,662,459,106
当年度未処理欠損金	1,979,143,897

### 3 業務実績

#### ◎ 直営2病院(川崎病院・井田病院)計

区分	令和3年度	令和4年度	増 減
(1) 患者延数	667,523 人	697,657 人	30,134 人
入院	238,291	252,555	14,264
外来	429,232	445,102	15,870
(2) 1日平均患者数	2,427 人	2,524 人	97 人
入院	653	692	39
外来	1,774	1,832	58
(3) 診療収益	24,325,931 千円	26,127,884 千円	1,801,953 千円
入院	16,567,045	17,714,328	1,147,283
外来	7,758,886	8,413,556	654,670
(4) 1人1日平均収益	36,442 円	37,451 円	1,009 円
入院	69,524	70,140	616
外来	18,076	18,903	827
(5) 入院患者実人数	18,413 人	19,325 人	912 人
(6) 1人平均入院日数	12.9 日	13.1 日	0.2 日

#### ◎ 多摩病院 (指定管理者 報告値)

区分	令和3年度	令和4年度	増 減
(1) 患者延数	288,598 人	282,451 人	△ 6,147 人
入院	85,463	85,225	△ 238
外来	203,135	197,226	△ 5,909
(2) 1日平均患者数	989 人	969 人	△ 20 人
入院	234	233	△ 1
外来	755	736	△ 19
(3) 診療収益	8,643,182 千円	9,097,279 千円	454,097 千円
入院	5,743,610	6,172,865	429,255
外来	2,899,572	2,924,414	24,842
(4) 1人1日平均収益	29,949 円	32,208 円	2,259 円
入院	67,206	72,430	5,224
外来	14,274	14,828	554
(5) 入院患者実人数	7,944 人	7,685 人	△ 259 人
(6) 1人平均入院日数	10.8 日	11.1 日	0.3 日

※ 多摩病院は利用料金制を適用しているため、診療収益は市病院事業会計の決算に含まれておりません。

#### (直営2病院の内訳)

#### 川崎病院

区分	令和3年度	令和4年度	増 減
(1) 患者延数	450,574 人	468,833 人	18,259 人
入院	161,715	166,758	5,043
外来	288,859	302,075	13,216
(2) 1日平均患者数	1,637 人	1,700 人	63 人
入院	443	457	14
外来	1,194	1,243	49
(3) 診療収益	17,687,384 千円	18,870,945 千円	1,183,561 千円
入院	12,436,828	13,015,927	579,099
外来	5,250,556	5,855,018	604,462
(4) 1人1日平均収益	39,255 円	40,251 円	996 円
入院	76,906	78,053	1,147
外来	18,177	19,383	1,206
(5) 入院患者実人数	13,165 人	13,551 人	386 人
(6) 1人平均入院日数	12.3 日	12.3 日	0.0 日

#### 井田病院

区分	令和3年度	令和4年度	増 減
(1) 患者延数	216,949 人	228,824 人	11,875 人
入院	76,576	85,797	9,221
外来	140,373	143,027	2,654
(2) 1日平均患者数	790 人	824 人	34 人
入院	210	235	25
外来	580	589	9
(3) 診療収益	6,638,547 千円	7,256,939 千円	618,392 千円
入院	4,130,217	4,698,401	568,184
外来	2,508,330	2,558,538	50,208
(4) 1人1日平均収益	30,600 円	31,714 円	1,114 円
入院	53,936	54,762	826
外来	17,869	17,888	19
(5) 入院患者実人数	5,248 人	5,774 人	526 人
(6) 1人平均入院日数	14.6 日	14.9 日	0.3 日

#### 4 経営状況比較年次表

(税抜き)  
(単位:千円、%)

##### ◎ 病院事業合計

区 分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	決算額	前年度比較		決算額	前年度比較		決算額	前年度比較	
		増減額	率		増減額	率		増減額	率
病院事業収益 (1)	36,860,961	3,156,031	9.4	40,027,113	3,166,152	8.6	37,748,660	△ 2,278,453	△ 5.7
(一般会計繰入金)	( 6,002,877 )	( △ 50,159 )	( △ 0.8 )	( 5,950,385 )	( △ 52,492 )	( △ 0.9 )	( 5,884,230 )	( △ 66,155 )	( △ 1.1 )
医業収益 ①	25,301,490	△ 1,874,383	△ 6.9	27,196,043	1,894,553	7.5	29,198,219	2,002,176	7.4
診療収益	22,386,149	△ 1,867,225	△ 7.7	24,325,931	1,939,782	8.7	26,127,884	1,801,953	7.4
入院収益	15,347,648	△ 1,284,967	△ 7.7	16,567,045	1,219,397	7.9	17,714,328	1,147,283	6.9
外来収益	7,038,501	△ 582,258	△ 7.6	7,758,886	720,385	10.2	8,413,556	654,670	8.4
その他医業収益	2,915,341	△ 7,158	△ 0.2	2,870,112	△ 45,229	△ 1.6	3,070,335	200,223	7.0
医業外収益 ②	6,429,142	699,167	12.2	6,332,138	△ 97,004	△ 1.5	5,095,836	△ 1,236,302	△ 19.5
特別利益 ③	5,130,329	4,331,247	542.0	6,498,932	1,368,603	26.7	3,454,605	△ 3,044,327	△ 46.8
病院事業費用 (2)	33,595,675	335,472	1.0	34,611,965	1,016,290	3.0	36,427,421	1,815,456	5.2
医業費用 ④	31,480,091	460,615	1.5	32,427,600	947,509	3.0	34,158,934	1,731,334	5.3
給与費	15,921,001	1,013,866	6.8	16,122,660	201,659	1.3	16,569,074	446,414	2.8
材料費	6,270,521	△ 101,328	△ 1.6	6,840,293	569,772	9.1	7,535,844	695,551	10.2
経費	6,416,531	△ 353,063	△ 5.2	6,574,409	157,878	2.5	7,163,238	588,829	9.0
その他	2,872,038	△ 98,860	△ 3.3	2,890,238	18,200	0.6	2,890,778	540	0.0
医業外費用 ⑤	1,886,360	37,154	2.0	1,907,708	21,348	1.1	1,977,449	69,741	3.7
特別損失 ⑥	229,224	△ 162,297	△ 41.5	276,657	47,433	20.7	291,038	14,381	5.2

区 分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	決算額	前年度比較		決算額	前年度比較		決算額	前年度比較	
		増減額	率		増減額	率		増減額	率
医業損益 ①-④	△ 6,178,601	△ 2,334,998	△ 60.8	△ 5,231,557	947,044	15.3	△ 4,960,715	270,842	5.2
経常損益 (①+②)-(④+⑤)	△ 1,635,819	△ 1,672,985	△ 4,501.4	△ 807,127	828,692	50.7	△ 1,842,328	△ 1,035,201	△ 128.3
川崎病院	△ 639,964	△ 903,599	△ 342.7	452,390	1,092,354	170.7	△ 307,771	△ 760,161	△ 168.0
井田病院	△ 1,150,131	△ 784,332	△ 214.4	△ 1,466,140	△ 316,009	△ 27.5	△ 1,878,424	△ 412,284	△ 28.1
多摩病院	154,276	14,946	10.7	206,623	52,347	33.9	343,867	137,244	66.4
純損益 (1)-(2)	3,265,286	2,820,559	634.2	5,415,148	2,149,862	65.8	1,321,239	△ 4,093,909	△ 75.6
川崎病院	2,505,554	1,797,836	254.0	3,855,277	1,349,723	53.9	1,305,343	△ 2,549,934	△ 66.1
井田病院	573,448	998,548	234.9	1,265,046	691,598	120.6	△ 667,419	△ 1,932,465	△ 152.8
多摩病院	186,284	24,175	14.9	294,824	108,540	58.3	683,315	388,491	131.8
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 22,274,894	3,265,286	12.8	△ 16,859,746	5,415,148	24.3	△ 15,538,507	1,321,239	7.8

## 5 決算総括表

(税込み)

### (1) 予算執行状況

(単位:円)

#### ア 収入

科目	予算額	決算額	増 減
1.収益的収入	36,270,273,000	37,891,685,372	1,621,412,372
2.資本的収入	3,898,073,000	2,854,867,000	△ 1,043,206,000
合計	40,168,346,000	40,746,552,372	578,206,372

#### イ 支出

科目	予算額	決算額	増 減
1.収益的支出	37,338,017,000	36,540,488,515	△ 797,528,485
2.資本的支出	5,902,908,713	4,849,896,871	△ 1,053,011,842
合計	43,240,925,713	41,390,385,386	△ 1,850,540,327

### (2) 収益的収支・資本的収支

#### ア 収益的収支

区分	収入	支出	収支差引(A)
収益的収支	37,891,685,372	36,540,488,515	1,351,196,857

…(A)

#### イ 資本的収支

区分	収入	支出	収支差引(B)
資本的収支	2,854,867,000	4,849,896,871	△ 1,995,029,871

…(B)

### (3) 収支差引不足額に対する財源措置の状況

項目	金額	内 訳	
①当年度分損益勘定留保資金	1,221,473,266	減価償却費	2,678,395,553
		過年度損益修正益	△ 907,293
		過年度損益修正損	2,731,368
		固定資産除却費	136,753,290
		退職給付引当金	18,559,510
		長期前受金戻入	△ 1,613,200,482
		過年度補助金 (資本的収入)調定減	△ 858,680
②繰越工事資金	96,780,000	過年度繰越工事資金	197,010,000
		翌年度繰越工事資金	△ 100,230,000
③貯蔵品仮払消費税仕入控除額	△ 25,226,070		
合計 (C)	1,293,027,196		
収支差引額に対する財源過不足額 (A) + (B) + (C)	649,194,182	収益的収支(A)	1,351,196,857
		資本的収支(B)	△ 1,995,029,871
		補てん財源等(C)	1,293,027,196

### (4) 累積財源過不足額

前年度末財源余剰額	8,214,139,195
当年度末財源余剰額	8,863,333,377

## 6 財政健全化法における資金不足比率の状況

資金不足比率	経営健全化基準
— (資金不足となっていない)	20%



## 令和4年度 川崎市病院事業会計決算（見込）の概況

### ○ 決算見込みのポイント

◎病院事業全体（市立3病院計）の経常損益は、入院及び外来収益が増加したものの18億4,233万円の経常損失となりました。また、病院事業全体の純損益は、新型コロナウイルス感染症に係る補助金などにより13億2,124万円の純利益となりました。

#### 市立3病院の経営成績（税抜き）

（単位：円）

科目	川崎病院	井田病院	多摩病院※	病院事業合計
総収益	25,022,498,315	10,766,375,089	1,959,786,784	37,748,660,188
医業収益	20,484,650,067	7,695,667,885	1,017,901,071	29,198,219,023
医業外収益	2,719,483,273	1,774,065,977	602,286,107	5,095,835,357
特別利益	1,818,364,975	1,296,641,227	339,599,606	3,454,605,808
総費用	23,717,154,801	11,433,795,004	1,276,471,575	36,427,421,380
医業費用	22,377,414,449	10,765,293,044	1,016,225,984	34,158,933,477
医業外費用	1,134,490,188	582,864,852	260,094,383	1,977,449,423
特別損失	205,250,164	85,637,108	151,208	291,038,480
経常損益	△ 307,771,297	△ 1,878,424,034	343,866,811	△ 1,842,328,520
純損益	1,305,343,514	△ 667,419,915	683,315,209	1,321,238,808

※多摩病院は利用料金制を採用しているため、多摩病院の診療収益は市病院事業会計の決算に含まれておりません。

### ○ 患者状況・診療収益状況

◎川崎病院、井田病院では、入院、外来ともに患者延人数及び収益が増加しました。

◎多摩病院では、入院及び外来患者数は減少しましたが、診療単価の上昇により、入院及び外来収益は増加しました。

	入院患者延人数	外来患者延人数
川崎病院	166,758人 (5,043人増)	302,075人 (13,216人増)
井田病院	85,797人 (9,221人増)	143,027人 (2,654人増)
多摩病院	85,225人 (238人減)	197,226人 (5,909人減)

	入院患者実人数	1人平均入院日数
川崎病院	13,551人 (386人増)	12.3日 (増減なし)
井田病院	5,774人 (526人増)	14.9日 (0.3日増)
多摩病院	7,685人 (259人減)	11.1日 (0.3日増)

	入院収益（税抜き）	外来収益（税抜き）
川崎病院	130億1,593万円 (5億7,910万円増)	58億5,502万円 (6億446万円増)
井田病院	46億9,840万円 (5億6,818万円増)	25億5,854万円 (5,021万円増)
多摩病院	61億7,286万円 (4億2,925万円増)	29億2,441万円 (2,484万円増)

※（ ）は前年度比較

## ○ 業務状況

市立3病院では、市の基幹病院又は地域の中核病院として、公共の福祉の増進と経済性の発揮を基本としながら、高度・特殊・急性期医療や救急医療等を継続的かつ安定的に提供しています。また、災害、研修教育等の対応を含めた医療行政施策の推進、地域医療機関との連携強化など、本市の医療水準の向上に寄与できるよう取り組んでいます。

このような中、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の市中感染等の広がりを受け、既存病床を新型コロナウイルス感染症専用病床に転換するなど、流行状況に応じた柔軟な対応を行いながら、年度当初から感染症患者の入院受入れを積極的に行い、通常診療との両立に取り組みました。さらに、感染症患者の入院調整等を行う調整本部への人員派遣や、福祉施設・事業所に対する感染症防止対策の指導・研修を主眼とした出前講座を実施するなど、様々な面で新型コロナウイルス感染症に対応してまいりました。

本市病院事業においては、公立病院として新興感染症への対応が求められる中、地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供するとともに、更なる経営改革と経営健全化を図るため「川崎市立病院経営計画 2022-2023」を策定し、取組を進めています。

◎川崎病院においては、高度・特殊・急性期医療、救命救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等への医療や、精神科救急医療などを提供しています。令和4年4月にはがん診療の実績と機能が評価され地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。川崎病院再編整備については、エネルギー棟及び給水ポンプ棟の建築工事を進め、また、救命救急センターと既存棟の実施設計を行いました。

◎井田病院においては、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、結核医療、緩和ケア医療などを提供しており、在宅療養後方支援病院として、地域の在宅医をサポートする取組も進めています。令和4年度は、「がん・総合健診センター」を開設し、各種検診に加えて、精密ながん検診を提供する体制を整えました。また、令和4年7月には、神奈川県災害拠点病院の指定を受けました。

◎多摩病院においては、小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー疾患医療等の一般診療を提供しています。また、地域医療支援病院として引き続き地域の医療機関との連携に努めるなど、北部地域の中核病院としての役割を果たしています。令和4年5月には緩和ケア病棟を設置し、運用を開始しました。なお、本病院は指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。

## ○ 主な建設改良

◎川崎病院では、改修工事及び救命救急センター新築工事の設計を実施したほか、7階電気室の医療用無停電電源装置の更新等を実施しました。井田病院では、改築整備事業完了に伴う開発行為申請手続き等を実施しました。

◎医療器械については、川崎病院では、生理検査システムの更新等を行いました。井田病院では、原価計算ソフトの導入等を行いました。

【問合せ先】 川崎市 病院局 経営企画室 経理担当 佐藤  
電話 044-200-3855

## 令和4年度 川崎市病院事業会計決算総括表

(収益的収支)

(単位：円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	税抜処理後純損益	前年度繰越損益	その他未処分利益 剰余金変動額	当年度未処理損益
病院事業会計	予 算 現 額	36,270,273,000	37,338,017,000	△ 1,067,744,000	-	-	-	-
	決 算 額	37,891,685,372	36,540,488,515	1,351,196,857	1,321,238,808	△ 16,859,746,468	-	△ 15,538,507,660
	執 行 率	104.5	97.9	-	-	-	-	-

(資本的収支)

(単位：円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	補 填 財 源 等				再 差 引	備 考
					繰越工事資金	損益勘定 留保資金	前 年 度 財源充当額	そ の 他		
病院事業会計	予 算 現 額	3,898,073,000	5,902,908,713	△ 2,004,835,713	-	1,995,387,713	-	9,448,000	-	
	決 算 額	2,854,867,000	4,849,896,871	△ 1,995,029,871	△ 100,230,000	1,893,517,892	197,010,000	4,731,979	-	
	執 行 率	73.2	82.2	-	-	-	-	-	-	

令和4年度 病院事業会計決算（見込）のポイント（税抜き）

<病院事業全体>

			令和4年度決算 (見込)	令和3年度決算	増 △減額	増 △減率	備 考
1 収益的収入			377億4,900万円	400億2,700万円	△22億7,800万円	△5.7%	
主な 収入	入院収益	177億1,400万円	165億6,700万円	11億4,700万円	6.9%	患者延人数、診療単価の増加による川崎病院及び井田病院の増	
	外来収益	84億1,400万円	77億5,900万円	6億5,500万円	8.4%	患者延人数、診療単価の増加による川崎病院及び井田病院の増	
	他会計繰入金	58億8,400万円	59億5,000万円	△6,600万円	△1.1%		
2 収益的支出			364億2,700万円	346億1,200万円	18億1,500万円	5.2%	
主な 支出	給与費	165億6,900万円	161億2,300万円	4億4,600万円	2.8%		
3 経常損益			△18億4,200万円	△8億 700万円	△10億3,500万円	△128.3%	
内訳	川崎病院	△3億 800万円	4億5,200万円	△7億6,000万円	△168.1%		
	井田病院	△18億7,800万円	△14億6,600万円	△4億1,200万円	△28.1%		
	多摩病院	3億4,400万円	2億 700万円	1億3,700万円	66.2%		
4 純損益			13億2,100万円	54億1,500万円	△40億9,400万円	△75.6%	
内訳	川崎病院	13億 500万円	38億5,500万円	△25億5,000万円	△66.1%		
	井田病院	△6億6,700万円	12億6,500万円	△19億3,200万円	△152.7%		
	多摩病院	6億8,300万円	2億9,500万円	3億8,800万円	131.5%		

(注) 増△減率が正の場合、収支は改善している。負の場合、収支は悪化している。

5 資金不足比率	— (資金不足となっていない)	— (資金不足となっていない)			参考：財政健全化法における経営健全化基準 20%
----------	--------------------	--------------------	--	--	--------------------------

※ 金額については百万円未満を四捨五入（一部、端数調整有り）

※ 増減率については小数点第2位を四捨五入